

記入要領（１）

体験活動ボランティア活動支援センター等調査票

【調査対象】

「体験活動ボランティア活動支援センター」等、支援センターとしての機能を有している当該センター等を調査対象とします（基本的には、平成18年4月に照会した「都道府県及び市区町村における体験活動ボランティア活動支援センター設置状況」中の支援センターで、調査実施時期において支援センターとしての機能を有しているものは、すべて調査対象となります。また、平成18年4月2日以降10月1日までに新たに支援センターとしての機能を有することとなったものも調査対象に含みません。）。

なお、教育委員会として体験活動ボランティア活動支援センターとして位置づけていないNPOセンター等は、管下にある場合でも、対象外となります。

【調査実施時期】

調査実施時期は、平成18年10月1日現在とします。

1. 支援センターの運営・機能について

問1. 設置・運営主体

○設置主体

該当する項目に○をつけてください。「オ. その他」の場合は、ア～エに該当しない場合に実際に運営している機関等の名称を記入してください。

○運営主体

該当する項目全てに○をつけてください。「オ. その他」の場合は、ア～エに該当しない場合に実際に運営している機関等の名称を記入してください。

問2. 運営経費の出所

支援センターの事業を運営するため経費の出所について、該当する項目全てに○をつけてください。各府省庁からの委託費・補助金等を受けている場合は、「ア. 各府省庁の事業」に○をつけ、該当府省庁名及び事業名を記入してください。「ウ. 社会福祉協議会の事業経費」及び「エ. NPOの事業経費」の場合は、団体名及び事業名を記入してください。

なお、「オ. 自主財源」は、都道府県・市区町村の場合で、ウ及びエに該当しない支援センターの場合に○をつけてください。

また、「カ. その他」の場合は、事業経費の出所を記入するとともに経費名を記入してください。

問3. 支援センターを継続している理由

該当する項目全てに○をつけてください。「カ. その他」の場合は、その理由を簡潔に記入してください。

問4. 今後の支援センターの継続について

該当する項目に○をつけてください。「イ. 継続しない予定である」の場合は、()内に廃止予定年度を記入してください。

問5. 実施している業務内容

該当する項目全てに○をつけてください。

なお、「シ. 他(都道府県)(市区町村)との連絡調整や情報の共有」については、都道府県支援センターにおいては「他都道府県」との、市区町村支援センターにおいては「他市区町村」との状況について回答してください。

また、「タ～ト」については、都道府県のみ回答してください。

2. コーディネーターについて

問6. コーディネーター配置状況

該当する方に○をつけてください。

配置していない場合は、問9、問10及び問11の回答は不要です。

問7. コーディネーター無配置の理由(問6でイに回答した場合のみ)

該当する項目全てに○をつけてください。「エ. その他」の場合は、その理由を簡潔に記入してください。

問8. 今後のコーディネーター配置予定(問6でイに回答した場合のみ)

該当する方に○をつけてください。

問9. コーディネーター人数(問6でアに回答した場合のみ)

「うち専任」及び「うち兼任」欄には、配置しているコーディネーター数のうち数をそれぞれ記入してください。

また、コーディネーターの内訳に該当する人数を記入してください。

「教育委員会職員」とは、教育委員会における「体験活動ボランティア活動支援センター」担当職員等が支援センターのコーディネーターとしての役割を担っている場合に記入してください。

「社会福祉協議会職員」及び「NPO職員」の場合は、()内に所属の団体等名を記入してください。

また、「その他」欄は、例えば「元小学校長」「元大学教授」など、個人の資質等により採用されている者を想定していますが、他の欄に当てはまらない場合も「その他」欄に

記入してください。

問10. コーディネーター採用条件（問9の内訳で、民間団体等職員及びその他に該当がある場合のみ）

該当する項目全てに○をつけてください。「オ. その他」の場合は、（ ）内に具体的にその内容を記入してください。

問11. コーディネーターの報酬（問6でアに回答した場合のみ）

ここでいう「報酬」には、給与・謝金等を含みます。該当する方に○をつけてください。

3 支援センターの課題について

問12. 現在どんな課題があるか

支援センターの取組において、現在どのような課題があるかについて該当する項目全てに○をつけてください。「セ. 他のボランティア団体・NPO等～」の場合には、社会福祉協議会のボランティアセンター、市民活動センターを含みます。また、掲載項目以外の課題については、「ツ. その他（ ）」に記入してください。

4 全国体験活動ボランティア活動総合推進センターについて

問13. 現在、全国体験活動ボランティア活動総合推進センターをどのように活用しているか

該当するもの全てに○をつけてください。

問14. 全問13の事項以外に、全国体験活動ボランティア活動総合推進センターに期待することがあれば記入してください

自由に記述してください。

記入要領（２）

体験活動ボランティア活動支援センターコーディネート事例調査票

【調査対象】

「体験活動ボランティア活動支援センター」等、支援センターとしての機能を有している当該センター等（以下「支援センター」という。）を調査対象とします。

なお、教育委員会として体験活動ボランティア活動支援センターとして位置づけていないNPOセンター等は、管下にある場合でも、対象外となります。

【記入方法】

平成17年度（※）中に、「支援センター」において、特色ある活動を行った事例、あるいは特に力を入れた事例について、下記分類ア～カの中から1つを選択し、調査票中の「コーディネート事例分類」欄にその記号を記入の上、1～6までの項目について記入してください。

ご提供いただく事例の数は問いません。

なお、1事例ごとに別葉にしてください。

※平成17年4月1日～平成18年3月31日までをいう。

【分類】

- ア 青少年のボランティア活動の場を開発した事例
- イ 青少年のボランティアグループを組織し運営に協力した事例
- ウ 地域のボランティア推進機関やNPOなどと連携・協力した事例
- エ 社会教育施設や社会教育団体との連携・協力した事例
- オ 地域と学校（小・中・高校）が連携・協力した事例
- カ 大学と連携・協力した事例
- キ 指導者養成のためのプログラムを作成した事例
- ク その他特色ある事例

【記入に当たっての留意事項】

- 1 コーディネートする際に、工夫した点及び留意点並びに苦労した問題に対する解決策、今後の課題に焦点をあて、記入してください。
- 2 ご提出いただいた調査票の中から、まず特色あるコーディネート事例を選定（50事例程度）し、更に詳しく活動内容の原稿を執筆いただき、「コーディネート事例集（平成17年度）」として冊子にまとめる予定です。

詳細に執筆いただく事例については、当方から改めて依頼をさせていただきますので、その際は重ねて御協力をお願いいたします。